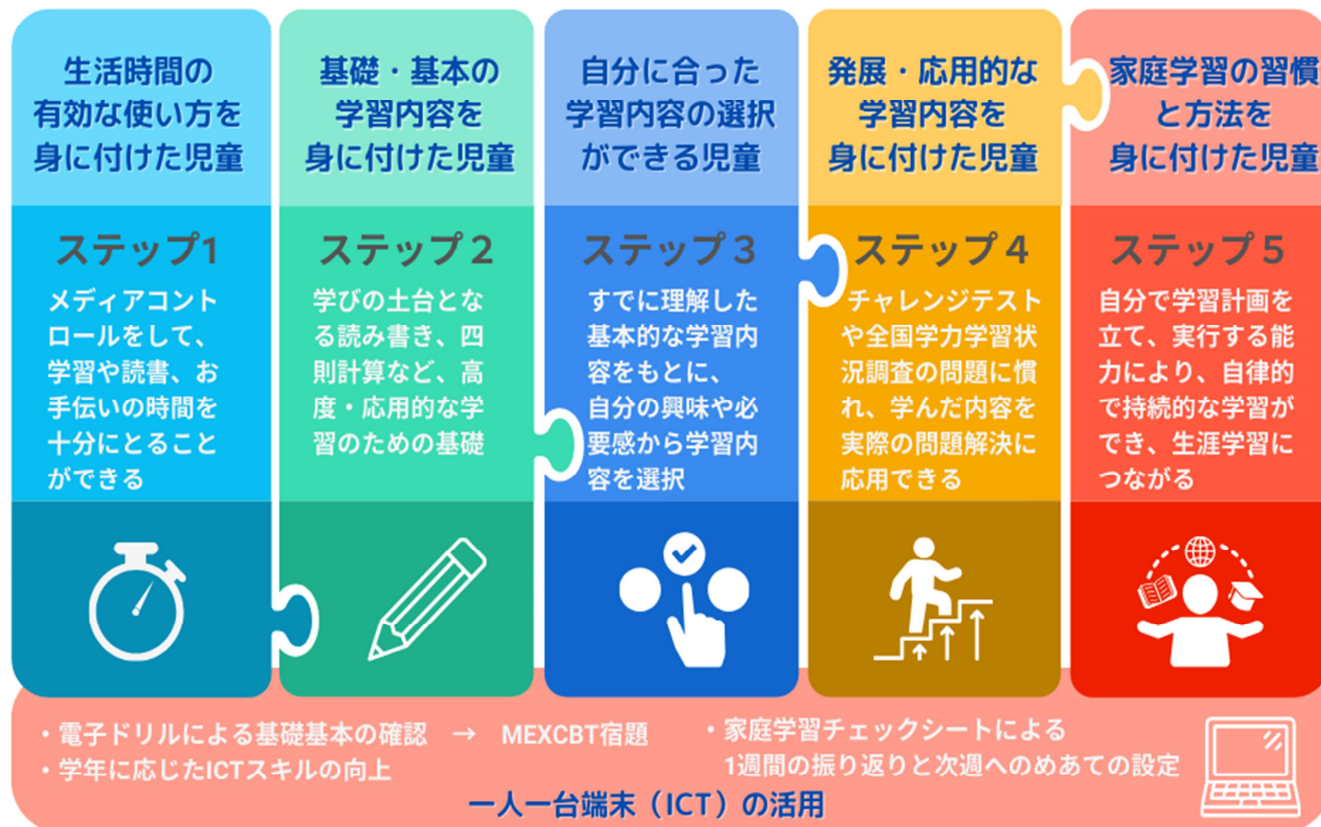


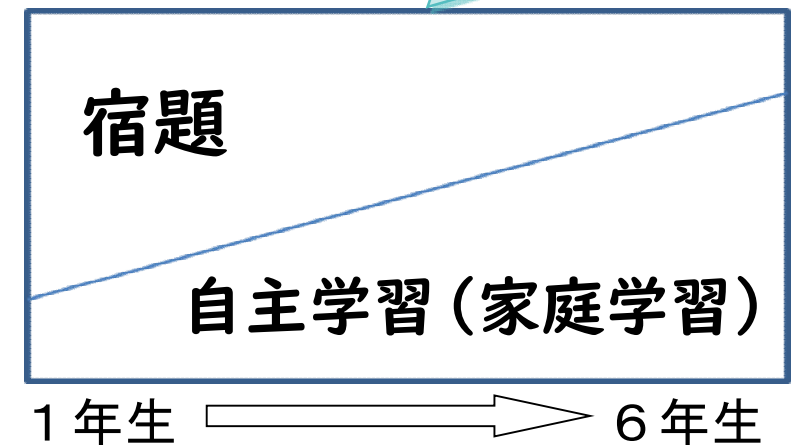
家庭学習の手引き

小学校の学習は、将来お子さんが社会人として自立するための基礎となるものです。お子さんの望ましい学習習慣や生活習慣の定着、そして、学年の学習内容の確かな定着に向けて、保護者の皆様には、家庭学習の意義や取り組み方についてご確認いただき、お子さんのサポートに役立てていただけると幸いです。

家庭学習を通して育てたい児童の姿



「決められた学習をする」→「自分で内容を決めた学習をする」姿になっていくことが理想です。



保護者の3つの役割！

- せかさず、叱らず、一緒に歩むペースメーカー。
- わずかな変化や努力を認め、励ますサポーター。
- 自主的、主体的に学ぶ環境（教材や課題を含む）を整えるファシリテーター。

- ちょっとした努力を認め、褒めたり励ましたりしましょう。
- 一緒に食事をとったり、読書をしたりしましょう。
- 動画視聴やゲームの時間について、ルールを決めましょう。（メディアコントロール）
- 宿題→自主学習→次の日の準備 など、ご家庭での習慣を身に付けましょう。

家庭学習はチームプレイです。
学校とご家庭とで手を取り合って、すすめましょう！

本校における家庭での学習時間は、「**宿題＋自主学習（家庭学習）**」のことを指します。宿題は、全学年で取り組ませています。自主学習（家庭学習）は、自分で（または、保護者等の助けを得ながら）内容を決め、自分のために、自分で取り組む学習です。**右上の図**のように、学年が上がるにつれて、自主学習（家庭学習）の分量が多くなります。（自主学習の内容は、**別紙の各学年の「家庭学習について」**を参考にしてください。）

学年が上がるに従って、**自分で内容を決めたり、学年に応じた時間で取り組んだり、自分から進んで取り組んだりすることができるようになるためにも、ご家庭のサポートが不可欠**です。お子さんの家庭学習習慣が定着するよう、取組の後押しをお願い致します。